

クローズアップ
CLOSE UP

沿道の声援を受け快走

1月1日、元旦恒例のニューイヤークロスランが県庁を発着点に開催。地区予選を勝ち抜いた36チームが出場し、全7区間100kmを駆け抜けました。今年から沿道での観戦が再開されたため、大勢の声援を受けたHondaが史上7チーム目の連覇を成し遂げました。

読書推進運動に貢献した個人・団体を顕彰する、野間読書推進賞。猿木さんが会長を務める萌えぎの会は昨年9月、団体の部を受賞した。同会は昭和49年に発足し、来年50周年を迎える。「歴代の会長やメンバーが活動を続けてきたおかげで今があり、受賞につながりました。感謝の気持ちでいっぱいです」

長年の活動の結果、会員は26人に増え、それぞれが得意なことを生かしている。

「会では、読み聞かせという言葉も耳慣れない頃から、子どもたちに本を読む活動をしてきました。昨年8月に亡くなった初代会長である母の手伝いとして、私は学生の頃、アコーディオンの伴奏で参加していました」

「絵本を読みながら、目の前で楽しんでる親子の笑顔が見えると喜びを感じます。新型コロナウイルス流行前に実施していた認定子ども園や介護施設などへの訪問でも、また来てねという声がうれしかったですね」

同会は発足時から、読み聞かせと節句などの歳時記飾りを柱としてきた。現在はこども図書館を拠点に活動している。

「読み聞かせや歳時記飾りを通じて、子どもたちに楽しさを感じてもらえたら。成長とともに本を好きに、あるいは日本の伝統や文化を大切にしようようになってくれたらと思います」

「萌えぎ」の名前のとおり、子どもたちの芽吹きを目指して、猿木さんたちの活動は続く。



みんなの笑顔で元気が湧いて



名称新たに20歳の祝い

新たな名称となった「はたちのつどい」を1月8日に日本トーターグリーンドーム前橋で開催しました。初市まつりと各種コラボ企画も実施。参加者は楽歩堂前橋公園に設置した大だるまに夢を書き込んだり、久しぶりに会う友人との楽しい時間を過ごしたりしました。



だるま求めてにぎわう

1月9日、初市まつりを開催しました。恒例のお焚き上げや渡御行列も実施。東和銀行本店・憩いの広場には八幡宮（本町二丁目）の仮宮が置かれ、大きなだるまを参拝する人もいました。だるま販売の露店や飲食物の屋台も多く出店しました。



旬な農産物や生産者を紹介するこのコーナー。今回はネギを紹介いたします。

本市では白い部分が長い根深ネギの栽培が昔から盛ん。年間の出荷量も常に上位の野菜です。前橋産ネギを買うなら市内の各農産物直売所がおすすめ。写真は風ライオンふじ農産物直売所（富士見町石井）に出荷している富士見町島の岩淵正紀さんです。栽培品種の龍まさりは、白い部分の食感が良いネギで、旨味成分がたっぷり。鍋に入れて旨味ごと味わってください。岩淵さんのネギは学校給食にも使われています。



園農政課
☎ 027-898-5841



©amino fumie

本市伝統野菜の一つ、「石倉根深葱」は約90年前に石倉町で育成・栽培されてきました。消滅の危機に瀕していたこのネギを復活させたのは、大友町三丁目の角田勉さん。種苗会社勤務時代の経験を生かし、平成20年から同ネギの復活に取り組んできました。柔らかく甘い当時のネギを再現できたのはそれから10年後。次の目標は生産者の増加とブランド野菜化です。

ネギは殺菌作用や抗酸化作用に優れた野菜です。寒い冬を乗り切るため、ぜひ食事にたくさん取り入れてください。



©amino fumie

